

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

- Q1. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「昔、ある所に住んでいたとかいう人」。
- Q2. 答え：過去推量 解説：文末。「古き都に花が咲いたであろう」。
- Q3. 答え：過去の原因推量 解説：「など」（疑問副詞）と呼応。「どうして昔の人は嘆いたのだろう」。
- Q4. 答え：婉曲 解説：体言「僧」の前。「中国に渡ったとかいう僧」。
- Q5. 答え：過去推量 解説：文末。「皆、月を愛でたであろう」。
- Q6. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる縁にて」（疑問）。「どんな縁で、こんな目に遭ったのだろう」。
- Q7. 答え：婉曲 解説：体言「都鳥」の前。「名前として持っていたとかいう都鳥」。
- Q8. 答え：過去推量（疑問） 解説：「何処へ」は場所疑問詞であり、原因疑問詞ではない。「昔の人は、どこへ行ったのだろう」。
- Q9. 答え：婉曲 解説：体言「人ら」の前。竹取物語的。「月の都に住んでいたとかいう人々」。
- Q10. 答え：過去の原因推量 解説：「いかに」と呼応。「昔の歌詠みは、どのように思ったのだろう」。
- Q11. 答え：婉曲 解説：体言「国」の前。「古い時代に栄えていたとかいう国」。
- Q12. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなるを」（疑問）。「どのようなものを尋ねたのだろう」。
- Q13. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる」と呼応。「古典作家は、どんな景色を見たのだろう」。
- Q14. 答え：婉曲 解説：体言「鳥の声」の前。「鳴き渡ったとかいう鳥の声」。
- Q15. 答え：婉曲 解説：体言「こと」の前。連用形「あり」＋「けむ」。「古代にあったとかいうことが、今は伝わらない」。
- Q16. 答え：過去の原因推量 解説：「なぜ」（＝どうして）と呼応。「どうして昔の都は捨てられたのだろう」。
- Q17. 答え：婉曲 解説：体言「人ら」の前。「過ぎ去った夏、海辺で遊んだとかいう人々」。
- Q18. 答え：過去推量（疑問） 解説：「何処に」は場所疑問詞であり、原因疑問詞ではない。「古代の宮は、いまだどこにあったのだろう」。
- Q19. 答え：婉曲 解説：体言「桜」の前。「春に咲いたとかいう桜」。
- Q20. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる」と呼応。「昔の都の道を、どのような人々が歩いたのだろう」。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

- Q21. 答え：婉曲 解説：体言「書物」の前。「中国の人が書き留めたとかいう書物」。
- Q22. 答え：過去の原因推量 解説：「いかに」と呼応。「どのような世であったのだろう」。
- Q23. 答え：婉曲 解説：体言「山」の前。「雪が深く積もったとかいう山」。
- Q24. 答え：過去の原因推量 解説：「なぜ」と呼応。「どうして中国の人は和歌を解さなかったのだろう」。
- Q25. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「月の都を出たとかいう人」。
- Q26. 答え：婉曲 解説：体言「人」の直前なので連体形（過去婉曲）。「どんな夢を見たとかいう人が、今、起きた」。
- Q27. 答え：婉曲 解説：体言「話」の前。「昔から伝わったとかいう話」。
- Q28. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる人」（疑問）。「私の祖父は、どんな人だったのだろう」。

- Q29. 答え：婉曲 解説：体言「僧」の前。「仏に祈ったとかいう僧」。
- Q30. 答え：婉曲 解説：体言「御方」の前。「とても尊くいらっしゃったとかいうお方だ」。
- Q31. 答え：過去の原因推量 解説：「いかで」＋過去推量。「どうして春は来たのだろうか」。
- Q32. 答え：過去推量 解説：文末＋詠嘆「かな」。「月を愛でたであろうことよ」。
- Q33. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「知り合いだったとかいう人で、なお親しい」。
- Q34. 答え：婉曲 解説：体言「人ら」の前。「春の野で若菜を摘んだとかいう人々を、今も忘れない」。
- Q35. 答え：過去の原因推量 解説：「なぞ」と呼応。「どうしてあんな悲しい夢を見たのだろうか」。
- Q36. 答え：過去推量（疑問） 解説：「何方に」は場所疑問詞であり、原因疑問詞ではない。「私の父は、どこにいたのだろうか」。
- Q37. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「京に住んでいたとかいう人を、なお忘れない」。
- Q38. 答え：婉曲 解説：体言「言葉」の前。連用形「あり」＋「けむ」。「古典の中にあつたとかいう言葉」。
- Q39. 答え：婉曲 解説：体言「夜」の前。「笛の音を聞いたとかいう夜」。
- Q40. 答え：過去の原因推量 解説：「いかで」と呼応。「どうしてこのような宝を得たのだろうか」。
- Q41. 答え：婉曲 解説：体言「人々」の前。「中国に渡ったとかいう人々」。
- Q42. 答え：婉曲 解説：体言「月かげ」の前。「春の夜に見たとかいう月の光」。
- Q43. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる」と呼応。「昔の世に、どんな風が吹いたのだろうか」。
- Q44. 答え：過去の原因推量 解説：「いかに」と呼応。連用形「あり」＋「けむ」。「私の母は、若い時にどうしていたのだろうか」。
- Q45. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「山中に隠れていたとかいう人」。
- Q46. 答え：過去の原因推量 解説：「何方に」（疑問）＋詠嘆「かな」。「古き友は、今ごろどこにいたのだろうかかなあ」。
- Q47. 答え：婉曲 解説：体言「頃」の前。カ変連用「き」＋完了「ぬ」連用「に」＋「けむ」。「春が来てしまったとかいう頃、まだ雪深い」。
- Q48. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる御縁にて」（疑問）。「どんなご縁で、こんなに長く生きていらしたのだろうか」。
- Q49. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前＋係助詞「こそ」。「風雅を解したとかいう人にこそ、なお尊い」。
- Q50. 答え：過去推量 解説：「ぞ」（係助詞）＋連体形「けむ」結び。「古い京を捨てたのが、惜しい」。

### 【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：過去推量（已然形「けめ」、係助詞「こそ」の結び） 解説：徒然草の有名な一節。「中国の人は、これを優れていると思ったからこそ、書き留めて世にも伝えたのだろうか」。
- Q52. 答え：過去推量 解説：「あり」連用＋「けむ」＋準体「を」。「並々ならぬ宿縁の人だったであろうことを、今忘れない」。
- Q53. 答え：過去の原因推量 解説：「いかでか」＋「けむ」。「どうしてそのようなご縁であつたのだろうか」。
- Q54. 答え：婉曲 解説：体言「人々」の前。「月の都に住んでいたとかいう人々が、今も消えない」。
- Q55. 答え：婉曲 解説：体言「仏徳」の前。連用形「あり」＋「けむ」。「古い世にあつたとかいう仏の徳が、今、尽きない」。

- Q56. 答え：過去の原因推量 解説：「何の縁にて」（疑問）。「どんな縁で、こんなに永く語り伝えたのだろう」。
- Q57. 答え：婉曲 解説：体言「心」の前＋係助詞「ぞ」。「仏前に祈ったとかいう心が尊い」。
- Q58. 答え：過去の原因推量 解説：「何を」（疑問）。「古典作家は、何を思って筆を執ったのだろう」。
- Q59. 答え：婉曲 解説：体言「頃」の前。「都人が中国に渡ったとかいう頃、いま月が清らかである」。
- Q60. 答え：過去推量・婉曲 解説：「を」（準体）。「私も歌を詠んだとかいうのを、まだ詠まない」（逆接）。
- Q61. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる」＋「けむ」。「古代の人は、どんな文字を書いたのだろう」。
- Q62. 答え：過去の原因推量 解説：「何を」（疑問）。「都鳥は、過去の日は何を語ったのだろう」。
- Q63. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「古い寺を建てたとかいう人」。
- Q64. 答え：婉曲 解説：体言「夜」の前。「春雨が降ったとかいう夜を、なお忘れない」。
- Q65. 答え：婉曲 解説：体言「山際」の前。「月が出たとかいう山際、なお晴れわたっている」。
- Q66. 答え：婉曲 解説：下二段「見ゆ」連用「見え」＋「けむ」。「めったにないもの、いま見えたかのように、世にない」。
- Q67. 答え：過去の原因推量 解説：「いかに」と呼応。連用形「あり」＋「けむ」。「どうしていたのだろう」。
- Q68. 答え：婉曲 解説：「を」（準体）。「仏の道は、古き世に栄えていたとかいうのを、今は衰えてしまった」。
- Q69. 答え：婉曲 解説：体言「御身」の前。「玉のようであったとかいう御身、いまや散ってしまった」（う変「あり」連用形「あり」＋けむ）。
- Q70. 答え：過去の原因推量 解説：「いかで」＋「けむ」。「どうして老いてしまったのだろうと、嘆く」。
- Q71. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「古典をひもといたとかいう人」。
- Q72. 答え：婉曲 解説：体言「花」の前。「春の野に咲いたとかいう花、いま尽きない」。
- Q73. 答え：過去の原因推量 解説：「何の故にて」（疑問）。「どんな理由で、こんな目に遭ったのだろう」。
- Q74. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「山深く隠れ住んだとかいう人」。
- Q75. 答え：過去の原因推量 解説：「いかにか」＋「けむ」＋詠嘆「かな」。「どのように思ったのだろうかなあ、世の人の心」。
- Q76. 答え：婉曲 解説：体言「事」の前。「古き人皆が嘆いたとかいう世の事」。
- Q77. 答え：過去推量（疑問） 解説：「何処に」は場所疑問詞であり、原因疑問詞ではない。連用形「あり」＋「けむ」。「どこにいたのだろう、私の祖先は」。
- Q78. 答え：婉曲 解説：体言「山里」の前。「春雪が降ったとかいう山里、なお寒い」。
- Q79. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる人」＋「けむ」＋引用。「『どんな人だったのだろう』と尋ねる」。
- Q80. 答え：婉曲 解説：体言「人々」の前。「古き和歌を詠んだとかいう人々の心、今も生きている」。

#### 【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：過去推量（已然形「けめ」、係助詞「こそ」の結び） 解説：徒然草の有名な一節。「中国の人は、これを優れていると思ったからこそ、書き留めて世にも伝えたのだろう」。
- Q82. 答え：過去の原因推量 解説：「いかに」と呼応。伊勢物語の歌の派生。「『私の思う人はいるかいなか』とどうしていたのだろう」（う変「あり」連用形「あり」＋けむ）。
- Q83. 答え：婉曲 解説：「ざり」（打消「ず」連用）＋「けむ」。けむは体言「ゆゑ」の直前なので連体形（過去婉曲）。係助詞「こそ」の結びは文末の打消「ず」已然形「ね」。「時節ではなかったとかいうわけで、声を立てないのだ」。

Q84. 答え：過去推量 解説：文末。「古今の歌人は、なお心を尽くしてあったであろう」。

Q85. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前＋係助詞「こそ」。「物のあわれを知ったとかいう人にこそ、なお古典が伝わる」(係助詞「こそ」の結びは已然形「伝はれ」)。

Q86. 答え：過去推量・婉曲 解説：「を」(準体)。「雪がとても高く降ったとかいうのを、今に思い出す」。

Q87. 答え：過去の原因推量 解説：「何ゆゑに」と呼応。「どんな理由で古典が伝わったのだろう」。

Q88. 答え：婉曲 解説：体言「頃」の前。カ変連用「き」＋完了「ぬ」連用「に」＋「けむ」。「春が過ぎて夏が来てしまったとかいう頃」。

Q89. 答え：過去推量・婉曲 解説：「を」(準体・逆接)。「月の都の人だったとかいうのを、世の人はどうして知ろうか」。

Q90. 答え：過去の原因推量 解説：「いかなる」＋「けむ」＋「にや」(疑問)。「どんな宿縁であったのだろうか、と思う」。

Q91. 答え：婉曲 解説：体言「国」の前。「古い時代に栄えたとかいう国も、今や滅んでしまった」。

Q92. 答え：両方とも婉曲(最初)・過去推量(後) 解説：- 最初：「祈ったとかいう僧」(婉曲) - 後：「なお生きていたであろう」(過去推量)

Q93. 答え：過去の原因推量 解説：「いかに」＋連用形「あり」＋「けむ」＋詠嘆「かな」。「古代の歌人は、どのようにいたのだろうかなあ」。

Q94. 答え：婉曲 解説：体言「人」の前。「風雅を解したとかいう人でなければ、これを尊いと思わないだろう」。

Q95. 答え：過去の原因推量 解説：「いかに」＋連用形「あり」＋「けむ」＋準体「か」。「私の祖の世にあつて、どうしていたのかを尋ねる」。

Q96. 答え：過去推量 解説：文末。連用形「あり」＋「けむ」。「過去の日も、こうあったであろう」。

Q97. 答え：婉曲 解説：体言「御方」の前。「並々ならぬ宿縁で、月を見たとかいうお方」。

Q98. 答え：婉曲 解説：体言「事」の前。「古典にあったとかいう事を、今、ことが多くないと言えない」。

Q99. 答え：過去推量 解説：方丈記の改変。「古い人皆、これを見たであろう」。

Q100. 答え：婉曲 解説：体言「人々」の前。「物のあわれを知ったとかいう人々の心、今も私に伝わる」。